

第14回 九州・国際テクノフェア 第8回 産学連携フェア 特別企画展自動車技術展 開催！

九州・国際テクノフェア実行委員会・(財)西日本産業貿易コンベンション協会・(財)九州産業技術センター、北九州学術研究都市産学連携フェア実行委員会・(財)北九州産業学術推進機構主催による、「第14回 九州・国際テクノフェア」(ICT コンバージェンス 2008 ユビキタス・テクノロジー【革新と融合】への挑戦)、「第8回 産学連携フェア (知と技術の融合 “高付加価値産業の創出を目指して”）」、市制 45 周年記念特別企画「自動車技術展」が、10月8日から10日まで、北九州市小倉北区の西日本総合展示場・北九州国際会議場で開催され、25,000 余名の入場者で賑わった。

同催しの“自動車技術展”に出店した新日本製鐵(株)八幡製鐵所薄板部薄板管理グループの塚野マネジャーは、「現在、自動車で問題となっているのは軽量化と環境です。当社は、軽量化についてはハイテンを中心にした取り組みを実施していますが、八幡製鐵所では特に“ホットプレス用アルミめっき鋼板”に取り組んでいます。ホットプレス用アルミめっき鋼板は、熱間で加工後、金型焼き入れして強度を得ます。加工が容易でハイテンに比べ形状凍結性が良いという利点があります。環境面では、例えばエココートという燃料タンク用素材を製造しています。以前は鉛メッキを使用していたが、エココートは鉛からスズ亜鉛メッキにかえたことで環境に優しい素材となり、成形性・軽量化ともにすぐれているため、多くの自動車用燃料タンクに使用され始めています。展示品は GT-R の燃料タンクです」と商品紹介を行った。



八幡製鐵所 塚野マネジャー

また、同パーツネットの部門に出展していた三島光産(株)自動車関連本部の国武マネジャーは、「当社は、お客様から車両データを戴ければ、それをベースに金型の設計から樹脂成型、塗装、アッセンブリーと一貫したサービスを提供できることを今回紹介したい」と語った。

産学連携フェアに出展していた吉川工業(株)表面処理事業部研究室の熊井氏は、「今回は、国内初であるCFRP (高弾性炭素繊維強化樹脂) に、銅メッキあるいはセラミックス・サーメット・メタル等を溶射(表面処理法の一つ: 材料を加熱、溶かして、対象物に吹きつけ皮膜を作ること)コーティングが可能となりCFRPの対磨耗性が格段にあがったことです」と語った。



吉川工業 熊井氏

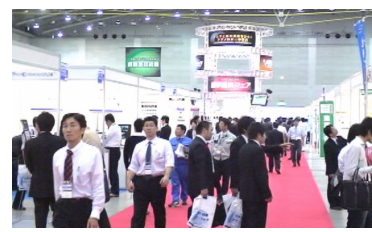
他安川電気、横川電気、九州電力、ダイハツ工業、トヨタ自動車、日産自動車、石川金属グループ、北九州市、国土交通省、西日本鉄道、早稲田大学、東京大学、北九州商工会議所、三菱化学、新日鐵科学、東芝セミコンダクター、西日本工業大学、九州工業大学、佐賀大学、九州共立大学・九州女子大学、九州大学、北九州工業高等専門学校、九州歯科大学、産業医科大学、北九州市立大学、九州産業大学、TOTO、九州経済産業局、九州総合通信局、西部ガス情報システム、九州ヒューマンメディア創造センター、福岡大学、九州電力、ソルネット、麻生情報ビジネス専門学校、NTT アドバンステクノロジー、日立製作所、芝浦工業大学(順不同)など 172 機関、370 小間が出展した。



トヨタ自動車



日産自動車



多くの人で賑わう 会場